

野本小学校 第1学年 シラバス 〈国語〉

学期	月	単 元 名	おもな学習内容
1学期	4	さあ はじめよう	・読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができるようにします。 ・文章の内容と自分の経験とを結びつけて、感想を持つことができるようにします。 ・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができるようにします。 ・経験したことから書くことを見つけ、伝えたい事柄を明確にすることができるようにします。
	5	ことばの たいそう	・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができるようにします。 ・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができるようにします。 ・句点の打ち方を理解して、文の中で使うことができるようにします。 ・語と語の続き方に注意することができるようにします。
	6	ことばの たいそう (つぼみ、おおきなかぶなど)	・事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができるようにします。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができるようにします。 ・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができるようにします。
	7	ことばの たいそう (好きなこと、なあに、おむすびころりんなど)	・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができるようにします。 ・語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができるようにします。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができるようにします。 ・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができるようにします。
2学期	9	おはなしをたのしもう よんでたしかめよう	・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができるようにします。 ・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができるようにします。 ・文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、文中の中の主語と述語との関係に気付くことができるようにします。
	10	おもいうかべながらよもう くわしくかこう	・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができるようにします。 ・助詞、句読点の打ち方などの使い方を理解して、文や文章の中で使えるようにします。
	11	せつめいする文しょうを よもう せつめいする文しょうを かこう など	・事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができるようにします。 ・事柄の順序に沿って簡単な構成を考えるようにします。
	12	好きなところをみつけよう てがみをかこう など	・文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想をもつことができるようにします。 ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができるようにします。 ・身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付くことができるようにします。
3学期	1	ことばのたいそう くらべてよもう	・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができるようにします。 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができるようにします。
	2	ことばっておもしろいな ふたりでかんがえよう	・言葉には事物の内容を表すはたらきがあることに気付くことができるようにします。 ・互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐことができるようにします。
	3	よんでかんじたことをは なそう おもい出してかこう	・文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができるようにします。 ・自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができるようにします。

評価の観点	○知識・技能 ○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度
評価方法	・ノート ・プリント ・挙手や発言 ・学習態度 ・ペーパーテスト 等

野本小学校 第1学年 シラバス 〈書写〉

学期	月	単 元 名	おもな学習内容
1学期	4	みつけてみよう かいてみよう など	・文字探しの方法を理解するようにします。
	5	かきじゅん など	・これまでに学習した文字を書き順に気をつけて書きます。
	6	せんのとちゅうのかきかた など	・送筆の書き方を理解できるようにします。
	7	ますめのなかのかくところ など	・拗音・促音、句読点、かぎ、濁点の各位置や大きさを理解することができるようになります。
2学期	9	かたかなのかきかた など	・片仮名の終筆と送筆に気をつけて正しく書けるようにします。
	10	かくのおわりのかきかた など	・漢字の終筆の書き方を理解することができるようになります。
	11	文字のかたち など	・漢字の外形の違いを理解することができるようになります。
	12	かきぞめ など	・書き出しの位置や、句読点を書く位置に気をつけて正しく書くことができるようになります。
3学期	1	かくのながさとほうこう など	・画の長さの違いを理解することができるようになります。
	2	ありがとうカードをかこう など	・学習したことを生かして、字形や書き順に気をつけて、丁寧に書くことができるようになります。
	3	学しゅうのまとめ など	・1年間の書写学習を振り返り、学習した内容を確認することができるようになります。

評価の観点	○知識・技能 ○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度
評価方法	・ノート ・プリント ・挙手や発言 ・学習態度 ・ペーパーテスト 等

野本小学校 第1学年 シラバス 〈算数〉

学期	月	単 元 名	おもな学習内容
1学期	4	なかまづくりとかず	・10までの数について、個数の比べ方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数のまとまりに着目して数の大きさの比べ方を考える力及び数の構成に着目して数を多面的に捉える力を養うとともに、数に親しみ、数で表すこと及び比べることのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養うことができるようにします。
	5	なんばんめ など	・数を用いた順序の表し方を理解し、基点に着目して順序を考える力を養うとともに、数を用いて順序を表すことのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養うことができるようにします。
	6	あわせるといくつ ふえるといくつ	・加法の意味と和が10以内の加法計算の仕方を理解し、数量の関係に着目して加法の意味や加法計算の仕方を考える力を養うことができるようにします。
	7	のこりはいくつ ちがいはいくつ どちらがながい	・減法の意味と被減数が10以内の減法計算の仕方を理解し、数量の関係に着目して減法の意味や減法計算の仕方を考える力を養うことができるようにします。 ・長さの比較などの活動を通して、長さや測定についての基礎的な意味を理解し、身の回りにあるものの長さについて任意単位などにより比較する力を養うとともに、長さについての感覚を豊かにし、日常生活に活用しようとする態度を養うことができるようにします。
2学期	9	10よりおおきいかず など	・40までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、10をひとまとまりにして数の数え方などを考える力及び数の構成に着目して数の計算の仕方を考える力を養うことができるようにします。
	10	たしざん かたちあそび	・1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を理解し、計算の仕方を操作や図を用いて考える力を養うとともに、計算の仕方を操作や図を用いて考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養うことができるようにします。 ・身の回りにあるものの形について、基本的な立体図形の特徴や機能を捉え、立体図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにしながら、立体図形の形に着目して特徴や機能を捉えたり、構成や分解を考えたりする力を養うとともに、それらを日常生活に活用する態度を養うことができるようにします。
	11	ひきざん	・11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を理解し、計算の仕方を操作や図を用いて考える力を養うとともに、計算の仕方を操作や図を用いて考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養うことができるようにします。
	12	どんなけいさんになるの かな	・問題文を読み、それぞれどんな式を立てればよいかを考えて解決することができるようにします。
3学期	1	おおきいかず など	・2位数や簡単な3位数について、個数の考え方や読み方、書き方、数の構成などを理解し、10を単位として数を捉える力及び数の構成に着目して数の計算の仕方を考える力を養うとともに、数で表すことのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養うことができるようにします。
	2	なんじなんぷん たしざんとひきざん など	・時刻に関心を持ち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとするようにします。 ・順序数や異種の数量を含む加減の場合、求大や求小の場面についても加減計算が適用できることを理解し、数量の関係を図に表し計算の意味を考える力を養うとともに、加減の意味を図に表して考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、今後の学習に活用しようとする態度を養うことができるようにします。
	3	かたちづくり など	・身の回りにあるものの形について基本的な平面図形の特徴を捉え、平面図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにしながら、平面図形の形に着目して特徴を捉えたり、構成や分解を考えたりする力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養うことができるようにします。

評価の観点	○知識・技能 ○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度
評価方法	・ノート ・プリント ・挙手や発言 ・ブロック操作 ・学習態度 ・ペーパーテスト 等

野本小学校 第1学年 シラバス 〈生活〉

学期	月	単 元 名	おもな学習内容
1学期	4	がっこうだいすき	・学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と自分との関わりを見付け、学校生活を支えている人々や友達のことが分かるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりすることができるようになります。
	5		
	6	はなをさかせよう	・植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、植物に親しみをもち、大切にしようとする事ができるようになります。
	7	なつがやってきた	・夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付いたりするとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、身近な自然を取り入れて自分たちの生活を楽しくしようとする事ができるようになります。
2学期	9	いきものとなかよし	・身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所や、変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、動物への親しみをもち、適切な世話をし、大切にすることができるようになります。
	10	たのしいあきいっぱい	・秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使うものを工夫して作ったり、身近な自然の違いや特徴を見付けたりすることができ、自然の様子や四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、身近な自然を取り入れ、自分たちの生活を楽しくしようとする事ができるようになります。
	11		
	12	じぶんでできるよ	・家庭生活について調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えてくれている家の人のことや、家の人のよさ、自分でできることについて考え、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、生活上必要な習慣や技能を身に付け、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとする事ができるようになります。
3学期	1	ふゆをたのしもう	・冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、遊びの面白さや自然の不思議さ、身近な自然の様子、季節によって生活の様子が変わることが気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、身近な自然を取り入れ自分たちの生活を楽しくしようとする事ができるようになります。
	2	もうすぐ2ねんせい	・入学してからの1年間を振り返り、1年前の自分と今の自分を比べて、自分自身の成長や、役割が増えたことに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもって生活しようとする事ができるようになります。
	3		

評価の観点	○知識・技能 ○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度
評価方法	・ノート ・プリント ・挙手や発言 ・学習態度 ・ペーパーテスト 等

野本小学校 第1学年 シラバス 〈音楽〉

学期	月	単 元 名	おもな学習内容
1学期	4	うたっておどって なかよくなるう	・歌詞の表す様子、旋律、リズムや拍と曲想との関わりに気付き、声を合わせて歌う技能を身に付けるようにします。
	5	はくをかんじとろう	・音色、リズムや拍などと曲想との関わりに気付き、楽器の音色に気を付けて演奏したり歌声や楽器の音を合わせて表現したりする技能や、即興的にリズムで呼びかけ合う技能を身に付けるようにします。
	6	はくにのってリズムをうとう	・リズムの違いや拍などと曲想との関わりに気付き、楽器の音を合わせて表現したりする技能や、反復や呼びかけとこたえを用いて簡単な音楽を作る技能を身に付けます。
	7	みのまわりのおとにみみを すまそう	・身の回りの様々な音の特徴に気付き、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けるようにします。
2学期	9	どれみとなかよくなるう	・音色や旋律などと曲想との関わりに気付き、音の高さの違いに気を付けながら、階名で歌ったり鍵盤ハーモニカを演奏したりする技能を身に付けるようにします。
	10	せんりつでよびかけあおう	・曲想と音色、旋律や呼びかけとこたえとの関わりに気付き、歌声や発音に気をつけて歌ったり簡単な旋律を作ったりする技能を身に付けたり、声の出し方や旋律のつなげ方について思いをもったり、曲全体を味わって聞いたりできるようにします。
	11	がっきとなかよくなるう	・音色やリズムなどと曲想との関わりに気付き、楽器の音色に気を付けて表現する技能を身に付けることができるようにします。 ・打楽器の音色のよさや面白さを感じ取って、互いの音や演奏の仕方を比べながら表現したり、曲全体を味わって聴いたりする学習に楽しんで取り組むことができるようにします。
	12	ようすをおもいうかべよう	・曲想と歌詞の表す様子、旋律、強弱や速度などとの関わりに気付き、声や音の出し方に気を付けて表現する技能や、音のつなげ方の特徴に気付き、音の重なりや呼びかけとこたえを用いて音楽をつくる技能を身に付けられるようにします。
3学期	1	にほんのうたをたのしもう	・わらべうたの旋律の特徴に気付き、拍にのって声を合わせて歌う技能を身に付けられるようにします。 ・音楽に合わせて体を動かしながら、わらべうたの旋律の特徴や拍を感じ取って、わらべうたの楽しさを見い出して聴いたり、歌い方や遊び方について思いを持ったりすることができるようにします。
	2	みんなであわせてたのしもう	・曲想と歌詞の表す様子、音色、リズム、旋律や音の重なりなどとの関わりに気付き、声の出し方や楽器の演奏の仕方に気を付けながら、互いに聴き合って表現する能力を身に付けるようにします。 ・音色、旋律、音の重なりや呼びかけとこたえと曲想との関わりを生かし、表現の仕方について思いをもったり、曲や演奏のよさや面白さを見いだし、曲全体を味わって聴いたりします。
	3		

評価の観点	○知識・技能 ○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度
評価方法	・ノート ・プリント ・挙手や発言 ・学習態度 ・ペーパーテスト 等

野本小学校 第1学年 シラバス 〈図工〉

学期	月	単 元 名	おもな学習内容
1学期	4	すきなもののいっぱい ねんどとなかよし	・クレヨンやパスなどの使い方慣れるとともに、形や色、描き方を工夫して表せるようにします。 ・経験したことや想像したことをもとに表したいものを見つけ、どのように表すか考えられるようにします。 ・丸める、のぼす、つまむなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫して作れるようにします。 ・粘土に触った感じやそこから生まれる形をもとに、造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えられるようにします。
	5	こすりだしからうまれたよ いろいろならべて	・こすって写したり、塗り重ねたりするなど、いろいろな表し方を試しながら工夫して表せるようにします。 ・いろいろな描き方をもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えることができるようにします。 ・形や色に着目して、材料を並べるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、工夫して作れるようにします。 ・材料の形や色、大きさなどの特徴をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えられるようにします。
	6	チョッキンパツでかざろう	・紙の折り方や切り方をさまざまに試すなど、新しい表し方を見つけながら表すことができるようにします。 ・紙を折ったり切ったりしてできる形をもとに表したい模様を見つけ、どのように表すかを考えることができるようにします。
	7	できたらいいな こんなこと うきうきボックス	・できたらいいなと思うことを考えて絵に表します。 ・接着剤の使い方に慣れ、空き箱を折り紙などの材料を用いて飾ります。
2学期	9	おしらせします！にっこ りニュース	・虫取りをして、楽しかったことやうれしかったことを絵に表します。
	10	ふわっふわっゴー さわってまぜてきもちい い	・風で動くおもちゃの作り方を工夫したり動きを確かめてどんなものを作りたいか考えたりできるようにする。 ・指や手のひらを動かす勢いや強さなどを変えるなど、手の感覚を働かせながら工夫して表せるようにします。 ・指や手のひらで思うままに描いたり塗ったりした形や色から表したいところを見つけ、どのように表すか考えられるようにします。
	11	スタンプぺったん あそぼうよパクパクさん	・いろいろな写し方を工夫したり、写しながら形を見つけたりすることができるようになります。 ・動きの特徴に合わせた飾りを付けたり、絵を描いたりするなど、表したいことをもとに工夫して表すことができるようにする。 ・動く仕組みや動きの特徴をもとに作りたいものを思いつき、どのように表すかを考えられるようにします。
	12	はことはこをくみあわせ て	・箱の組み合わせ方や付け方を工夫したり、箱を組み合わせて作りたいものを考えたりできるようにします。
3学期	1	ひかりのくにのなかまた ち	・袋の形を考えたり、中に入れる材料を選んだりする等、表したいことをもとに工夫して表すことができるようにします。 ・材料の形や色などをもとに作りたいものを思いつき、どのように表したらいいのか考えることができるようにします。
	2	ふわっとぎゅっとおはな がみのえ	・くしゃくしゃした薄紙の形や色、触った感じなどをもとに、表したいことを見つけることができるようにします。 ・薄紙に触れることを通して、そこから生まれる形や色、触った感じなどに気づいたり、表したいことをもとに、形や色の組み合わせやつくり方を工夫して表したりします。
	3	ようこそあたらしい1ねん せい	・伝えたい気持ちをもとに、形や色の表し方を工夫して表すことができるようにします。 ・新入生や卒業生への思いをもとに飾り付けたい作品を思いつき、どのように表すかを考えることができるようにします。

評価の観点	○知識・技能 ○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度
評価方法	・ノート ・プリント ・挙手や発言 ・学習態度 ・ペーパーテスト 等

野本小学校 第1学年 シラバス 〈体育〉

学期	月	単 元 名	おもな学習内容
1学期	4	固定施設遊び 跳の運動遊び	・固定施設を使った運動遊びでは、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りをするようにします。 ・跳の運動遊びでは、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりすることができるようにします。
	5	表現リズム遊び 走の運動遊び	・軽快なリズムに乗って踊ることができるようにし、身近な題材の特徴をとらえて踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えられるようにします。 ・走の運動遊びでは、いろいろな方向に走ることができるようにします。
	6	多様な動きをつくる運動遊び マット運動遊び	・体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをすることができるようにします。 ・いろいろな方向への転がり、手で支えている体の保持や回転をすることができるようにします。 ・簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えられるようにします。
	7	水の中を移動する運動遊び、もぐる・浮く運動遊び	水の中を移動する運動遊びでは、水につかって歩いたり走ったりすることができるようにします。 ・もぐる・浮く運動遊びでは、息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりすることができるようにします。
2学期	9	多様な動きをつくる運動遊び 走・跳の運動遊び	・体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをすることができるようにします。 ・走の運動遊びでは、いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりすることができるようにします。 ・跳の運動遊びでは、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりできるようにします。
	10	鉄棒遊び 跳の運動遊び	・支持して揺れ上がり下り、ぶら下がりや易しい回転をすることができるようにし、鉄棒を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに考えたことを友達に伝えることができるようにします。 ・跳の運動遊びでは、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりすることができるようにします。
	11	持久走 体ほぐしの運動遊び	・体を移動する動きをつくる運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりすることができるようにします。 ・手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができるようにします。
	12	的当て投げゲーム	・簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームができるようにします。 ・簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えられるようにします。
3学期	1	跳の運動遊び 跳び箱運動遊び	・跳の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けることができるようにします。 ・走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにします。 ・跳び箱を使った運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けられるようにします。 ・器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えられるようにします。
	2	鬼遊び 体ほぐしの運動遊び（短縄跳び）	・鬼遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、やさしいゲームをすることができるようにします。 ・簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにします。 ・体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをすることができるようにします。 ・体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにします。
	3	ボールゲーム	・簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをすることができるようにします。 ・簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにします。

評価の観点	○知識・技能 ○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度
評価方法	・ノート ・プリント ・挙手や発言 ・学習態度 ・ペーパーテスト 等

野本小学校 第1学年 シラバス 〈道徳〉

学期	月	単 元 名	おもな学習内容
1学期	4	あかるいあいさつ など	・日々の生活場面における挨拶に目を向け、気持ちの良い言葉遣いや所作が明るい気持ちにつながることに気づき、身近な人々に明るく接しようとする心情を育てます。
	5	ぼくは、きゅうしょくとうば など	・自分のしたことがみんなの役に立つうれしさを感じ、学級生活の充実に向けて進んで仕事をしようとする態度を養います。
	6	みんな あかちゃんだったよ など	・自分の成長に喜びを感じ、大切にしていこうという心情を育てます。
	7	おかしく ないかな など	・公共物や公共の場所を使うとき、周りの人々や、次に使う人々の気持ちを考えることが大切であることに気づき、約束やきまりを守ろうとする判断力を育てます。
2学期	9	ぼくのこときみのこと など	・自分の長所に気づき、自分のよさを伸ばしていこうとする心情を育てます。
	10	きんのおのぎんのおの など	・正直で誠実であることの素晴らしさを実感し、自分の気持ちや言動に対して、うそをついたりごまかしたりしないで、明るく元気よく行動する心情を育てます。
	11	大あわてのトラッピー など	・どのような状況であっても、身勝手にわがままな行動や発言をしないで、周りの人のことも考えた節度ある生活をしようとする心情を育てます。
	12	はしの上のおおかみ など	・親切にした時の気持ちよさを知り、誰に対しても思いやりの心をもって接しようとする心情を育てます。
3学期	1	ともやさんの字 など	・勉強や仕事に一生懸命取り組むことの大切さ、やらなければいけないことを自分の力で成し遂げた喜びと充実感について考え、自分でやらなければならないことは、しっかりとやろうとする心情を育てます。
	2	ないちゃった など	・相手の気持ちを考えて温かい心で接することで、お互いにより気持ちになれることが分かり、身近にいる人に対して温かい気持ちで接しようとする態度を養います。 ・どんな物も、それを作った人がいること、そして、そこには作った人の心が込められていることに気づき、物やお金を大切にしようとする態度を養うようにします。
	3	大すきだから など	・自分が好きなことや人との関係から自身の特徴に気づき、自分の良さを進んで伸ばそうとする心情を育てます。

評価の観点	○知識・技能 ○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度
評価方法	・ノート ・プリント ・挙手や発言 ・学習態度 ・ペーパーテスト 等